

## アンコールワット郊外の遺跡群

### ——バンティアイ・スレイ ( BANTEAY SREI )



<バンティアイ・スレイ、本殿正面>



<東洋のモナリザ、女神デヴァダー像>

アンコールワットから東北へ約19 km (車で約1時間) のシムリアップ川上流に位置。クメール語で「女の砦」の意味を持つこの小神殿は、「宝石箱」といわれる程、その建築美、彫刻美ともアンコール遺跡群の中で最も格調高い美しさを誇っています。ラテライト造りの周壁と参道以外は、全て貴重なばら色砂岩で造られ、洗練された優雅さに満ちた寺院です。中央祠堂の四隅には守護神ドバラパーが、左右の祠堂の四隅には「東洋のモナリザ」と称される美しい女神デヴァダーの浮き彫りがあります。この寺院は規模は小さいながらも、ヒンズー神話をモチーフにした繊細優美な彫刻を余すところなく施されており、見るものを魅了します。

### ——バンティアイ・サムレ ( BANTEAY SAMRE )

アンコール・ワットから東へ約19 km (車で約30分) のところに位置。クメール語で「サムレ族の砦」を意味するこの寺院は、高さ6 mのラテライトの周壁に囲まれ、その外観はまさに砦を彷彿とさせます。中央祠堂や回廊、経蔵にはシヴァ、ヴィシュヌ、ブラフマーの3大神とラーマヤナ物語が彫刻されており、壁面や柱に残る唐草模様や神蛇ナーガの美しい欄干など風化は進んでいますが優れた彫刻が豊富です。



<バンティアイ・サムレ中央神殿>



<ラーマヤナのレリーフ>